

発行・骨髓バンクを支援するいばらきの会 事務局 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷 605 くるみ屋

TEL:090 - 8306 - 7111/FAX:0291 - 37 - 1425/E-mail:yamazaki@kurumiya.com

ホームページ : <http://www.marow.or.jp/ibaraki/>**日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数 129,411人 県内 1,875人****骨髓移植希望者(患者数) 1,775人 県内 40人****バンクを通じての移植例数: 2,722例 県内 42例 採取数 37例 (2000年6月末現在)**

取手市善行表彰受賞

4月13日、取手市役所大会議室において「いばらきの会取手支部」は取手市表彰条例に基づき、市政振興に寄与した功績により善行表彰者として表彰されました。同市は平成4年6月、全国市町村に先駆けてドナー特別休暇制度を導入し、平成11年9月には「骨髓移植に対する医療保険の適用拡大に関する意見書」を採択して厚生大臣に提出するなど骨髓バンクに多大なご尽力をいただいておりますが、これも貫井支部長 同市議会議員 のこれまでのご努力の賜物として、心よりお祝い申し上げます。今回の表彰の意味するところは、地方行政が当会の活動を公式に評価してくれたということであり、今後の当会の活動において大きな力となってくれるでしょう。(山崎揚久)

「いばらきの会」総会

5月13日、平成12年度総会が旭村くるみ屋(当会事務局)において開催され、滞りなく終了いたしました。今回は参加者の仕事の都合で遅い開催時間となり、また翌日にはキリンフェスティバル参加のため早朝起床が予定されていたにもかかわらず、今年度の活動内容について大いに語り合いました。出席者:山崎夫妻、瀧、中津川、牛島 議決内容:別紙総会資料参照

キリンフェスティバル

5月14日、取手キリンビールフェスティバルが開催されました。我々の会が参加するのは2回目となります。天気も良く数万人の人出となり、大変にぎやかでした。チラシ配り、鮭とばやバザー品の販売、そして今年は、初めての試みであるペンシルバルーンにチャレンジしました。(チャリティーで1ヶ100円以上)といっても、会のメンバーには作れる者がいませんので、今回は、千葉の会の円東さんに力を貸して頂きました。長い風船がみるみるうちに色んな形になっていくのは、見ていて本当に面白いです。まして子ども達は余計です。あっという間に30分待ちの行列ができてしまいました。作る方は、殆ど休憩も出来ないくらいの盛況で、円東さんには本当にお世話になりました。これからは会のメンバーも、ペンシルバルーンをつくれるよう練習しようという事になりました。今回のイベントでも登録の意志を示してくれたり、骨髓バンクについて質問したりしてくれる方がいて、ボランティアとして大変励みになりました。楽しく、おいしい(もちろんビールが)活動の出来た一日でした。(山崎晃子)

全国骨髓バンク推進連絡協議会10周年記念・NPO法人化記念 NPO(特定非営利活動法人)総会

6月3日、東京早稲田の大隈講堂において全国協議会10周年記念・NPO法人化記念イベントが開催されました。当会からの出席は牛島、山崎揚久・晃子です。牛島さんにおいては当日のご準備、ご苦労様でした。「骨髓バンクいま、新たな一歩」と題して、これまでの10年を一つの区切りとし、これからがまた一つの始まりとして心に残るイベントとなりました。第一部記念式典は14時から開会し、会長挨拶と祝辞に続いて野村理事長により10周年記念事業内容の説明と、骨髓バンクシステム改革への提言がなされました。記念事業としてはキティちゃん団扇やクワアールなどの作成、今年中にキャンペーン登録で3000人(全国100ヶ所)を目標とすることなど、システム改革では登録システムの改善すなわちフィルタペーパーシステム(医療行為=採血ではない血液採取方式)によるDNAタイピング方式への移行とこれによる登録経費の削減(現在の半分以下)が提案されました。次に財団埴岡事務局長が目標30万人への事業発展のプロセスとボランティアへの期待を話された後、ボランティア団体代表が壇上に上がりボランティア憲章が採択されました。第二部では記念シンポジウムとして元患者さんからはこれまでの病気との関わりやドナーに対する気持ちが熱く語られ、適合ドナーを待つ患者さんからも現在の心境が述べられましたが、改めて一刻も早くドナー登録を増やさねばならない思いを強くさせられました。続く記念講演ではNHK手話ニュースキャスター(教育テレビ手話ニュース845など)の丸山浩路さんのユーモア溢れるトークステージに心打たれました。第三部記念祝賀会は会場を隣のガーデンハウスに移し、全国協議会歴代委員長によるこれまでの思い出や私達夫婦の暴露トーク、各地の名産品争奪ビンゴ大会などで大盛り上がりでした。

4日は任意団体としての全国協議会の解散総会、NPO総会、活動計画、各地の意見交換などがなされましたが、会員の皆さんにお伝えしたい特記事項として、白血病基金の募金箱が県内ではマツモトキヨシ・寺島・ドラッグマダマ・結城ジョックセンターなどのドラッグチェーン各店舗のレジ付近にありますので店員に一言アピールしておいて下さい。(例えば、このお店には募金箱ありますか?など)さらに今後もジャスコ各支店のサービスカウンターなどに置かれる予定です。(山崎揚久)

県庁・日赤訪問結果

6月30日、今年度の活動に関する要望内容説明のため、事務局長と二人で県業務課と血液センターを訪問しました。結論として十分に満足出来る成果が得られましたが、いばらきの会としての果たすべき役割もとても大きくなりましたので、会員の皆さんには内容を良くご理解のうえ、積極的な参画をお願いいたします。(牛島)

1. 日赤訪問により実施の合意が得られたもの

- (1) 移動採血との並行開催キャンペーン登録(献血並行開催)既に日赤で計画している献血バス配車先において、バスのすぐ隣で献血と同時にドナー登録も行なうもので、問診・採血は献血と同時に実施してもらいます。正に献血にオンブ・ダッコしてもらおう形ですが、沖縄で実績を挙げている方式であり、医師やナースを別に手配せずに済むこと、登録者の検査用採血を別にしなくて済むメリットがあります。当会の役割は 会場設営：バス横にテントを張るか、近くの屋内施設を借りてビデオ、机をセット ビデオ上映・説明・確認 バス周辺でのチラシ配布・呼びかけ、などです。テント設営の場合は最低4名が必要となります。配車予定は2ヶ月前に確定するので予定表を見ながら土日出人出の多い開催場所を決めることとなります。年複数回、2～3ヶ月に一度のペースを考えています。
- (2) 献血ルーム前での登録呼びかけ(ミニキャンペーン登録) 昨年のルーム登録実績が平日・日曜共に低調なため、県内3ヶ所のルーム前でPRチラシ配布・登録呼びかけを行ない、当日の当該ルームでの受付枠増加対応により予約無し受付を行なおうというものです。当会の役割は PRチラシ配布・登録呼びかけ ビデオ上映・説明・確認、です。最低3名が必要となります。こちらも年複数回、2～3ヶ月に一度のペースを考えています。

2. 県庁訪問により実施の合意が得られたもの

- (1) 県内各保健所巡回登録
福島では昨年度に常設保健所5ヶ所全てで巡回型キャンペーン登録を実施して、年間全登録者数の半数近い270名もの実績を得ており、今年度も県内全保健所8ヶ所での開催が予定されていることから、当県でも県内全保健所12ヶ所のうち年2～3ヶ所程度の開催を計画することになりました。スケジュールについては上記の献血並行・ミニキャンペーン登録を含めて来年度まで視野に入れた計画を立てることにします。
- (2) 県庁職域登録
県職員を対象とした県庁での開催は、県の積極的な取組みを県民にアピールする効果が高いこと、昨年度は全国5県で開催されたことなどから当県でも開催することになりました。こちらの方もスケジュールについては上記の献血並行・ミニキャンペーン・保健所巡回を含めて来年度まで視野に入れた計画を立てることにします。
- (3) 県民まつり
10月28日(土)、29日(日)の2日間、県庁周辺において県主催のイベントとして開催されます。この中で骨髓バンクのPRブースを出して欲しいと要請され、OKしました。具体的にはチラシ配布と物品販売ですが、献血並行登録が出来るかもしれません。こちらも皆さんの予定に入れておいて下さい。

「日立よかっぺまつりキャンペーン登録」

6月末の血液センター訪問により、今後継続開催することが合意された移動採血との並行開催キャンペーン登録(献血並行開催)の第1回目が、日立よかっぺまつり献血会場で開催されることになりました。当会の役割は 会場設営：バス横にテントを張るか、近くの屋内施設を借りてビデオ、机をセット ビデオ上映・説明・確認 バス周辺でのチラシ配布・呼びかけ、などです。今回は新方式による第1回目であることから、当日はトラブルなく進めることが必要であり、そのためには会員の皆さんのパワーが是非とも必要です。一人でも多くのご参加をお願いします!

日時：9月9日(土)10時～15時

場所：JR常陸多賀駅前 よかっぺまつり献血会場周辺

集合：9時 会場

参加される方は事務局までご連絡下さい。

バンクニュース16号に瀧さんがドナー体験を話す

骨髓提供による複雑な思いと家族との苦悩や周囲の協力、きっかけなど。提供した気持ちを書かれています。

テントを購入します

かねてから購入の話はあったのですがきっかけが無く、今年は献血並行登録やイベント等で使う機会が出てきそうですので今回購入することにいたしました。大きさは1.5間×2間 四方幕 会の文字を入れ、合計で114,450円です。使いまわしましょうね!

その他会員への連絡事項

全国協議会10周年記念イベントとして「医療講演会&患者相談会」を開催することになりました。時期は未定ですが、場所は昨年全国キャラバンで訪問した県立こども病院、講師は土田先生を見込んでいます。詳細が決まり次第ご連絡いたします。

今後のキャンペーン登録予定

年	月	場所・内容・イベント
00	9	日立よかっぺまつり(並)
	10	県民まつり(並)または百里基地航空ショー(並)
	11	つくばルーム(ミニ)
	12	県庁(職)
01	1	?(並)
	2	日立ルーム(ミニ)
	3	?(保)
	4	?(並)
	5	水戸ルーム(ミニ)
	6	?(保)

凡例

(並): 献血並行開催

(学): 学園祭同時開催

(ミニ): 献血ルーム前ミニキャンペーン

(職): 職域登録

(保): 保健所巡回開催

【事務局から御協力をお願い】

各皆様方のお住まいになっている各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。ご協力お願い致します。

会費納入とご寄付をありがとうございました。(2000年4月1日～7月16日現在 順不同敬称は略させていただきます。)

寄付 栗本孝雄2,000円 牛島英二100,000円 山崎揚久2,000円 山崎晃子2,000円 立原三朗3,000円
中津川智彦5,000円 松園茂樹8,000円 佐藤朗3,000円 金子道子1,000円 江尻明美4,000円 吉田茂則500円

会費 栗本孝雄 中津川智彦 松園茂樹 佐藤朗 佐藤ちい子 金子道子 野口将宏 増田亜由美 牛島英二 瀧公恵 山崎揚久
山崎晃子 江尻明美 立原三朗

<新年度年会費納入のお願い>

皆様からの会費は、大切な運動資金です。有効に活用致します。

また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。

年会費 一口 2,000円 何口でも

骨髄バンクのボランティアを応援してください。骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。

ご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義 **00110-3-127575**
加入者名義 骨髄バンクを支援するいばらきの会